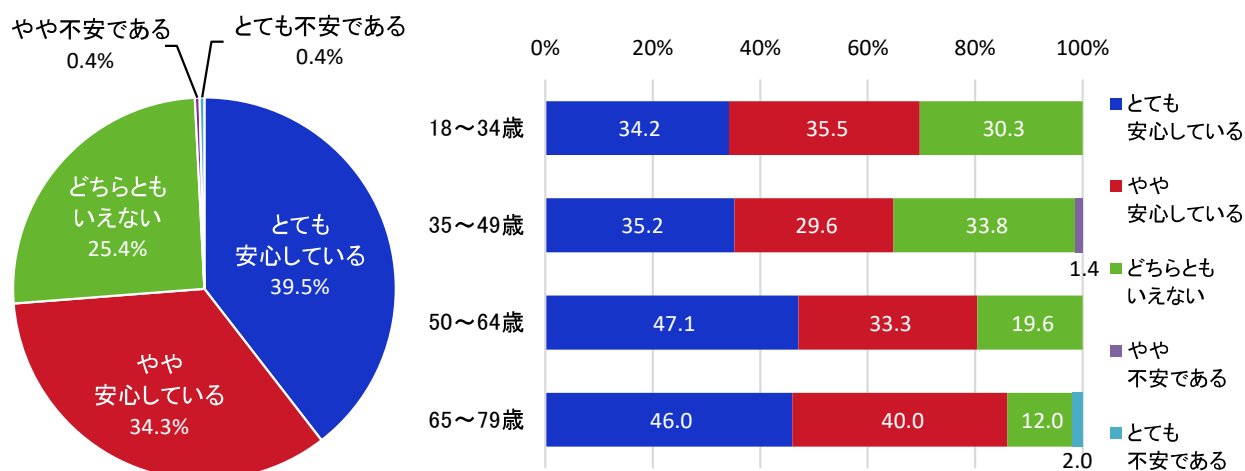


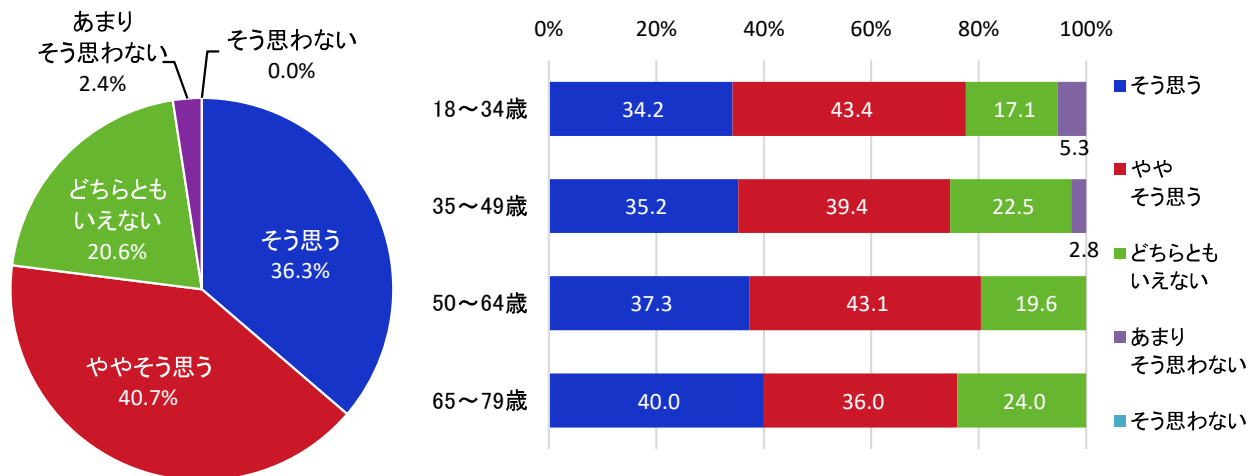
<消防局について>

問1 浜松市の全体的な消防体制について (n=248)



- 浜松市の全体的な消防体制については、全体では『安心している』（「とても安心している」と「やや安心している」の合計）が73.8%、『不安である』（「やや不安である」と「とても不安である」の合計）が0.8%となっています。
- 世代別にみても、全世代において『安心している』が『不安である』を大幅に上回っています。

問2 消防署は、火災や救急時にすぐに現場に到着できる場所にあると思うか (n=248)



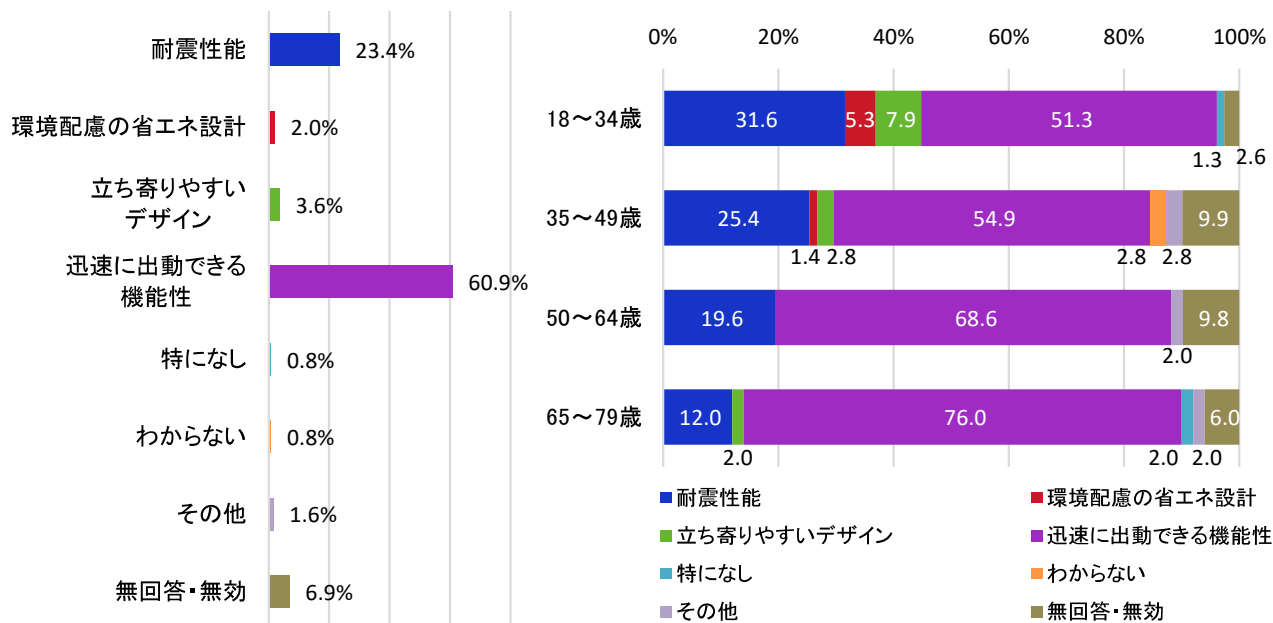
- 消防署は、火災や救急時にすぐに現場に到着できる場所にあると思うかについては、全体では『思う』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）が77.0%、『思わない』（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）が2.4%となっています。
- 世代別にみても、全世代において『思う』が『思わない』を大幅に上回っています。

問3 今後、消防署や出張所に必要だと思う設備 (n=248 複数回答)

	全体	18～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
最新の消防車両・救急車両	48.4%	40.8	47.9	60.8	48.0
大規模災害に対応できる資機材	75.8%	73.7	76.1	84.3	70.0
訓練施設(訓練塔など)	19.0%	18.4	14.1	21.6	24.0
市民向けの防災学習スペース	21.0%	19.7	19.7	17.6	28.0
来客用駐車場の充実	4.4%	6.6	4.2	3.9	2.0
バリアフリー設備	11.3%	3.9	12.7	17.6	14.0
特になし	2.4%	3.9	1.4	2.0	2.0
わからない	13.3%	11.8	12.7	11.8	18.0
その他	1.6%	-	1.4	3.9	2.0

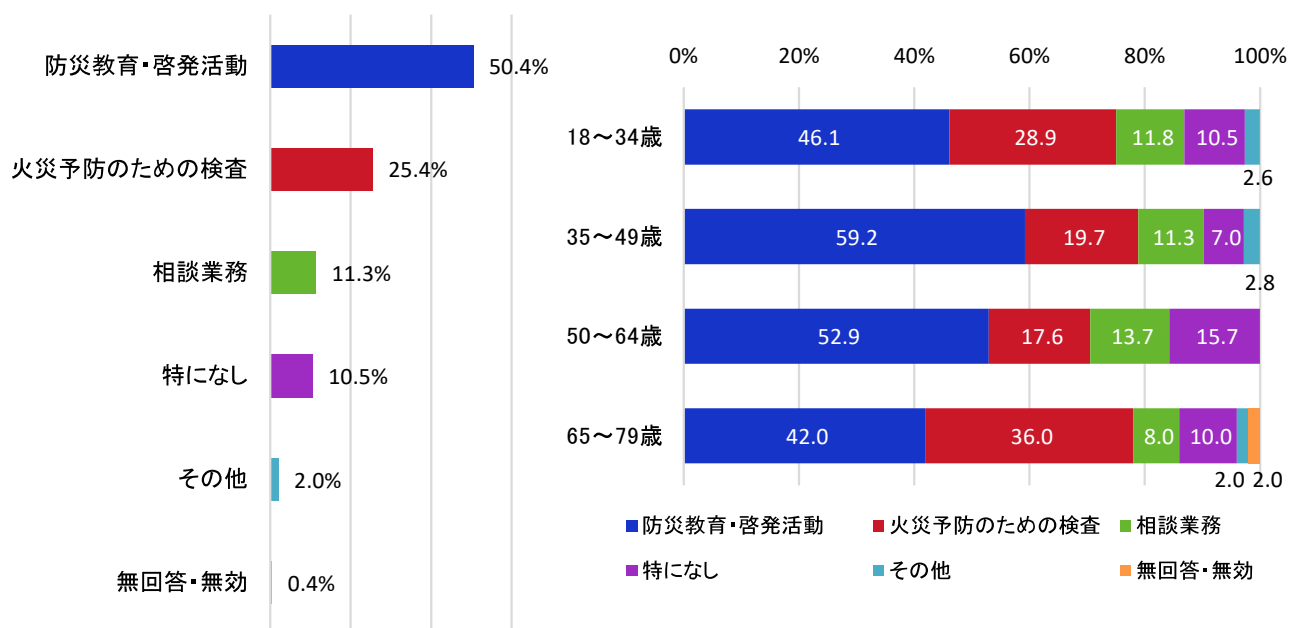
- 今後、消防署や出張所に必要だと思う設備については、全体では「大規模災害に対応できる資機材」が75.8%と最も多くなっています。
- 世代別にみても、全世代において「大規模災害に対応できる資機材」が最も多くなっています。

問4 消防署や出張所の建物に最も重要だと思う特徴 (n=248)



- 消防署や出張所の建物に最も重要だと思う特徴については、全体では「迅速に出動できる機能性」が60.9%と最も多くなっています。
- 世代別にみても、全世代において「迅速に出動できる機能性」が最も多くなっています。

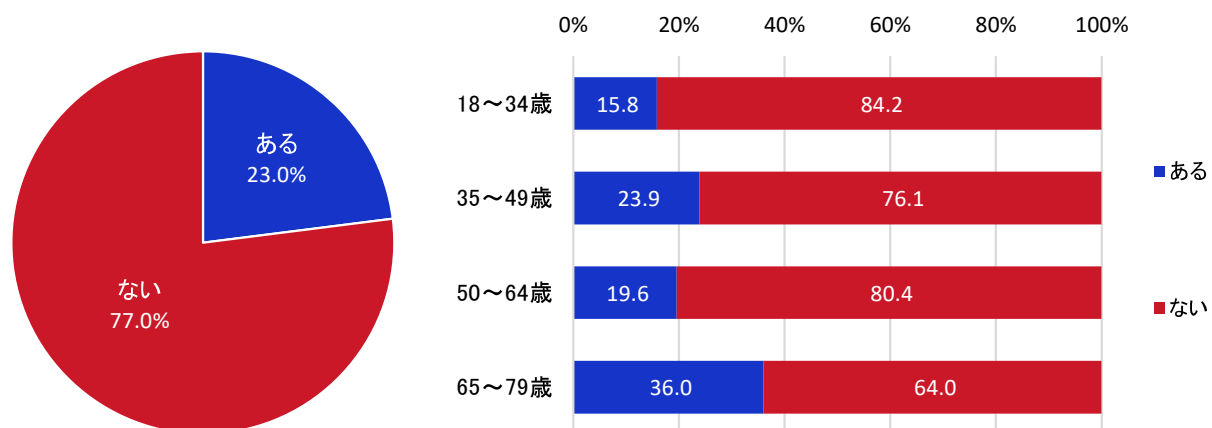
問5 火災・救助・救急活動のほかに力を入れてほしい業務 (n=248)



- 火災・救助・救急活動のほかに力を入れてほしい業務については、全体では「防災教育・啓発活動」が50.4%と最も多くなっています。
- 世代別にみても、全世代において「防災教育・啓発活動」が最も多くなっています。

問6 浜松市消防音楽隊の演奏を聞いたことがあるか (n=248)

※浜松市消防音楽隊は、イベントや式典などで演奏活動を行い、音楽を通じて市民の皆さまに消防活動へのご理解とご協力を得るための広報活動を行っています。



- 浜松市消防音楽隊の演奏を聞いたことがあるかについては、全体では「ある」が23.0%、「ない」が77.0%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「ない」が「ある」を上回っています。

■ 問7 消防音楽隊のイベントや演奏会を知った手段 (n=57 複数回答)
(問6で「ある」と回答した方)

	全体	18～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
広報はままつ	38.6%	33.3	11.8	40.0	66.7
消防局公式Instagram	5.3%	16.7	-	-	5.6
消防局ホームページ	1.8%	-	-	-	5.6
市公式SNS	8.8%	16.7	5.9	-	11.1
消防署などのイベント	24.6%	33.3	17.6	30.0	22.2
ケーブルテレビ	1.8%	-	-	10.0	-
たまたま会場で演奏していた	45.6%	33.3	64.7	40.0	38.9
その他	14.0%	8.3	11.8	20.0	16.7

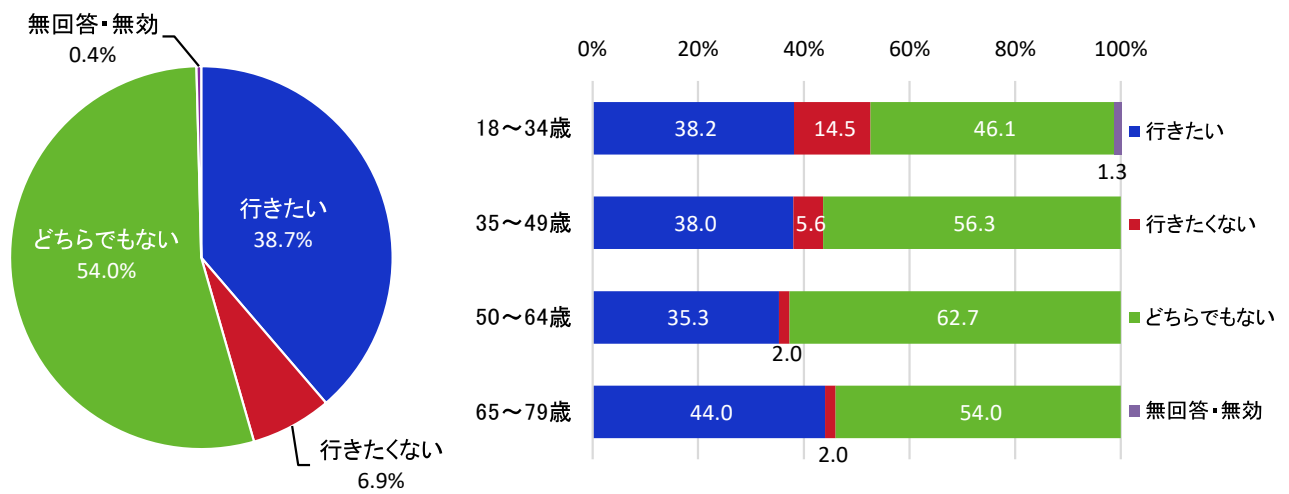
- 消防音楽隊のイベントや演奏会を知った手段については、全体では「たまたま会場で演奏していた」が45.6%と最も多く、次いで「広報はままつ」が38.6%となっています。
- 世代別にみると、18～34歳は「広報はままつ」「消防署などのイベント」「たまたま会場で演奏していた」が、35～49歳は「たまたま会場で演奏していた」が、50～64歳は「広報はままつ」「たまたま会場で演奏していた」が、65～79歳は「広報はままつ」が最も多くなっています。

■ 問8 消防音楽隊の広報活動で充実させてほしいこと (n=57 複数回答)

	全体	18～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
イベントや演奏会などでの情報発信	57.9%	33.3	58.8	70.0	66.7
ホームページやSNSなど、演奏会以外の広報活動	29.8%	33.3	29.4	30.0	27.8
地域への訪問演奏の実施	47.4%	33.3	58.8	20.0	61.1
特になし	8.8%	25.0	-	10.0	5.6
わからない	1.8%	-	5.9	-	-
その他	3.5%	-	11.8	-	-
無回答・無効	1.8%	-	-	-	5.6

- 消防音楽隊の広報活動で充実させてほしいことについては、全体では「イベントや演奏会での情報発信」が57.9%と最も多く、次いで「地域への訪問演奏の実施」が47.4%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「イベントや演奏会などでの情報発信」が最も多くなっています(18～34歳は「ホームページやSNSなど、演奏会以外の広報活動」「地域への訪問演奏の実施」、35～49歳は「地域への訪問演奏の実施」が同率)。

■ 問9 今後、消防音楽隊の演奏会に行きたいと思うか (n=248)



- 今後、消防音楽隊の演奏会に行きたいと思うかについては、全体では「行きたい」が38.7%、「行きたくない」が6.9%となっています。
- 世代別にみると、「行きたい」は65～79歳が44.0%と最も多く、18～34歳は38.2%、35～49歳は38.0%、50～64歳は35.3%となっています。